

## 普及活動情勢報告（平成29年7月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

### やっこねぎ部会「地区別現地検討会」を開催



JA 土佐香美やっこねぎ部会は、5月11日から6月29日にかけて、香南市土佐山田町内 12ヶ所で地区別現地検討会を開催、生産者のべ 131名が参加しました。

優良ほ場を見学し、JAより防除・施肥・他産地の状況、農業改良普及課からは土壌分析の活用や自動かん水装置による省力化技術等の情報提供を行いました。生産者の間では、かん水方法や病害虫防除、利用品種の特徴など様々な意見交換が行われました。

農業改良普及課では、今後もやっこねぎ部会の安定生産に向けた支援を継続していきます。

### 事業を活用しての省力化、規模拡大に向けて（JA 土佐香美ニラ部会）



6月16日にJA 土佐香美本所において、ニラ部会が、省力化機械や規模拡大の施設等導入希望農家を集めて、香南地区産地パワーアップ事業説明会を開催しました。農家 12名が参加し、農業改良普及課は、事業内容について説明しました。参加者からは、リース期間は何年か、施設展張フィルム補助はあるのかなど質問が多く出ました。申請希望の集計では、そぐり機 7台や低コスト耐候性ハウス 2件等となりました。

農業改良普及課は、今後産地パワーアップ計画の変更申請に向けて支援していきます。

### 地域そぐりセンター整備に向けて～先進地事例調査～



6月19日、JA 土佐香美ニラ部会員 12名とともに、労働力不足対策として、そぐりセンターを整備している JA 高知はたと JA コスモスを視察し、稼働状況を調査しました。そぐりセンターを実際に利用している生産者から、「栽培に専念できる。雇用に対する苦労が減った。」といった話がありました。参加者からは「経費はいくらか?」「搬入時間は何時まで?」といった質問があり、活発な意見交換が行われました。参加者は、具体的な「そぐりセンター」のイメージを持つことができ、産地における重要性を理解できた様子でした。

今後、農業改良普及課は、優良事例調査やアンケート調査を行い、地域でのそぐりセンター整備に向けて支援していきます。

## 平成 29 年度 はちきん農業大学中央東地域開講式及び第一回地域講座を開催



6月30日、中央東農業振興センター大会議室において開講式を行い8名が参加しました。その後、第一回目の講座として農業改良普及課から「高知県の農業施策について」と題して産業振興計画における農業分野の成長戦略を中心に説明後、「担い手の確保・育成について」、産地提案書に沿って研修から独立自営就農に至った事例等を紹介しながら担い手の確保・育成の取り組みについて紹介しました。チャレンジプランについては、目標設定などについて説明後、参加者全員が目標をたてることができました。

農業改良普及課は、今後も講座の企画や受講生の目標設定に向けて支援していきます。

## ピーマン南国地区合同研修会を開催



7月11日にJA十市とJA南国市、JA長岡のピーマン部会は、第9回ピーマン南国地区合同研修会を開催し、21名の生産者が参加しました。

研修会では、農業改良普及課から実証ほの成績の報告、ピーマンの栽培管理について講演しました。また、担い手育成センターから「環境制御技術導入条件下における促成ピーマンでの増収技術実証状況について」の講演がありました。生産者からは「環境制御機器を導入しようか」、「病気についてもっと詳しく知りたい」などの声が上がりました。

農業改良普及課では今後も関係機関と協力し、南国市のピーマンの生産を振興していきます。

## 果樹の栽培管理についてセルフチェック！（南国市果樹研究連合会通常総会）



7月5日、南国市の果樹生産者で組織される南国市果樹研究連合会が通常総会を開催し、生産者9名が出席しました。

農業改良普及課は、「果樹の栽培管理をチェック」と題して講演しました。チェックリストを利用して、果樹で共通する1年間の肥培管理や剪定、収穫後の管理等について振り返ってもらいました。出席者の栽培品目はモモ、ブドウ、柑橘、ヤマモモ等に分かれますが、同じ永年性作物であり、今作と来作の間に切れ目がないため、年間通して管理することの重要性を再認識してもらえました。

農業改良普及課は、今後も地域の果樹生産者団体の活動を支援します。

## 地産地消・食育の推進！ ～コハマ農産物直販所が小学校で茶の出前授業～



6月21日、茶の生産者コハマ農産物直販所(香美市物部町)が、出荷先の市内量販店職員とともに香美市立楠目小学校で6年生19名を対象に茶の出前授業を行いました。

農業改良普及課は、生産者や先生とともに、講義の内容や方法、そしてお茶の入れ方など事前準備の支援を行いました。

当日は、量販店職員がお茶の入れ方を実習し、生産者が、栽培や製茶方法について説明しました。

生徒は、クイズを交えた授業に積極的に参加し、熱心に講義を聞いていました。「お茶を急須で入れたのは初めて、おいしい」という生徒もあり、授業をきっかけに茶への関心が高まったようでした。

農業改良普及課は、今後も出前授業等による食育活動を支援していきます。

## 春菊の反省会と栽培講習会が開催されました



7月7日にJA土佐香美のオクラ・春菊部会が、春菊の反省会及び栽培講習会を開催し、生産者22名が参加しました。

29園芸年度の収量は前年比98%であったものの販売金額は114%、また秀品率は99.1%とこれまででもっとも良い結果となりました。栽培講習会では、ますますの収量向上を目指して、JAからは収量の多い人の管理の事例を示し、農業改良普及課からも栽培初期の管理について助言しました。

今後もJAと協力して、オクラの安定生産に向けて部会の活動を支援していきます。